

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り

Kagoshima Southern Wind Tidings



VOL.200

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム \(鹿児島県国際交流員 陳芸\)](#)

- 鹿児島県庁の新人国際交流員からの二ハオ🐼

[2 知事の動き](#)

- 第46回霧島国際音楽祭ファイナル・コンサート、修了式に出席しました(8月3日)
- 令和7年度「鹿児島県青少年海外ふれあい事業—シンガポール交流コース」の派遣団員の皆さんに、帰国報告をしていただきました(8月19日)
- 令和7年度「薩摩スチューデント派遣事業」の参加者に帰国報告をしていただきました(8月21日)

[3 かごしまの旬の情報](#)

- 一番茶の生産量で鹿児島県が初の日本一になりました
- 鹿児島県内で数多くの夏祭りが開催されました🌻

国際交流員のコラム

●鹿児島県庁の新人国際交流員からのニーハオ🐼●

—鹿児島県国際交流員 陳 芸（中国出身）—

皆さん、こんにちは！今年5月に鹿児島県の国際交流員として着任しました陳 芸（チン ウン）と申します。どうぞよろしくお願ひします！

光陰矢のごとし、気がつけば鹿児島に来てから4ヶ月以上が経ちました。初めてこの地に足を踏み入れた日のことは、まるで昨日のこのように感じられます。大学を卒業してから就職、結婚、出産と、私はずっと「レールの上を走るような」平凡な普通の生活を送ってきました。4月下旬、在中国日本国大使館から連絡を受け、JETプログラムの試験に無事に合格したことを知らされた時、興奮、喜び、驚き、戸惑い、迷い…様々な感情が入り混じりました。



鹿児島のシンボルである桜島

特別な人生経験を得られることへの期待と、一人で海外生活をしたことのない自分が果たして未知の地での生活に適応できるだろうかという不安もありました。こうして5月20日、緊張と期待が入り混じった気持ちを抱えながら、鹿児島でのこの不思議な旅が始まったのです。

鹿児島に来てから、皆さんから最もよく尋ねられるのは「もうこちらの生活に慣れましたか？」という質問です。その度に、私は誇らしげに「完全に慣れました！」と答えていました。「本当に早く慣れたね！」と褒めていただくのですが、実はそれは私の適応力が高いからではなく、皆さんが日常的に支えてくださったおかげで、無事に楽しく過ごすことができました。



桜島のハート型の石

手配いただいた快適な住まい、私と家族のための煩雑な手続きの代行、電球の取り付け、道に迷いそうな私を協会まで迎えに来てくださったこと、大雨の中ベッドの搬入を手伝ってくださったこと、健康診断への付き添い、端午の節句には日本のちまきを用意して下さり、事務システムの使い方を根気強く教えてくださったこと、どんな些細な質問にも丁寧に答えてくださったこと、とんかつやラーメンなどの名店に連れていってくださったこと、ATMでの振込操作を教えてくださったこと、ガラスカップを贈って下さり、誤って割ってしまった時も「大丈夫ですよ」と優しく声を

かけてくださったこと、拙い日本語を温かく見守ってくださったこと、温泉のチケットをくれたこと…これらの一つひとつの心遣いは、空の星のように数えきれないほど、異国で暮らす私の生活をあたたかな光で照らし、心に染みる温もりを与えてくれました。この場をお借りして、これまで出会った全ての方々へ心からの感謝を申し上げます。皆さまと出会えたこと、それが何よりの宝物です。

鹿児島に来てから、パンフレットやホームページ、身近な同僚や友人への相談、実際に足を運んでの体験など、いろいろな方法でこの土地（鹿児島）のことを知ろうと努めてきました。その理解が深まるにつれ、火山と共存するこの魅力的な都市がますます好きになってきました。

鹿児島は自然の寵愛を一身に受けた都市です。私は、桜島でこの地のシンボルとも言える特異な溶岩地形と、火山と共存する島民の知恵に触れました。



佐多岬の海



鶴丸城跡とハスの花

島津家別邸の仙巖園で和風建築が紡ぐ日本美と、桜島と錦江湾が織りなす独特の景観に魅了されました。日本最南端の佐多岬で翡翠色に輝く夢のような海を目の当たりにしました。南国ムード溢れる指宿で日本でも珍しい砂むし温泉を体験しました。古き良き霧島神宮で神々への畏敬の念が息づく信仰の姿を感じ取りました。緑溢れる慈眼寺で都会の喧噪を離れ、心の深呼吸を楽しみました。

鹿児島は火山と海が織りなす幻想的な景観だけでなく、伝統と現代が見事に融合した魅力溢れる都市でもあります。

私は、賑わい溢れる「六月灯」祭りに参加し、人々の幸福な生活を抱く、強い想いを肌で感じました。鹿児島の「おぎおんさあ」でこの地に根付く伝統文化が脈々と受け継がれる姿を目の当たりにしました。

また、鹿児島科学館で特別上映作品『MOON BASE』を通じて、宇宙の広大さと人類の未知への挑戦精神に胸を打たれました。夢のような水族館で多様な海洋生物の世界に触れながら自然保護の責任を再認識しました。黎明館で開催された人気クリエイター・田中達也のミニチュア展で日用品に新たな命を吹き込む独創的な発想に驚嘆するとともに、平凡なものに潜む非凡な可能性を学びました。



面白かったミニチュア展

鹿児島はまさに宝石箱のようなところで、足を踏み入れる度に新しい発見と独特の魅力が香り立ってきます。この土地が放つ神秘的な引力に引き込まれ、私は日々探究心をかき立てられています。

これからも鹿児島で過ごす日々への期待が満ちています。この貴重な国際交流の機会を最大限に活かし、日本への理解を一層深めるとともに、日中両国の文化を積極的に宣伝し、中日友好交流の架け橋となり、日中両国の友好交流のために微力ながら貢献したいと思っています。

知事の動き

●第46回霧島国際音楽祭ファイナル・コンサート、修了式に出席しました（8月3日）●

国内外から著名な音楽家や受講生を迎え、みやまコンセールを中心に開催した第46回霧島国際音楽祭のマスタークラス修了式に出席しました。

当日は、受講生も参加したファイナル・オーケストラ・コンサートが開催され、ピアニストのエリソ・ヴィルサーラーゼ氏によるピアノ協奏曲など、ロマンティックで情熱的な演奏を楽しみました。

受講生の皆さんが、マスタークラスで得た貴重な経験を力に、ここ霧島から世界へと羽ばたき、将来は演奏家や指導者として、この音楽祭に再び戻ってこられる日を心待ちにしています。



▲皆様の前で挨拶をさせていただいている様子



▲ファイナル・オーケストラ・コンサートの様子

●令和7年度「鹿児島県青少年海外ふれあい事業—シンガポール交流コース」の派遣団員の皆さんに、帰国報告をしていただきました（8月19日）●

令和7年度「鹿児島県青少年海外ふれあい事業—シンガポール交流コース」の派遣団員の皆さんに、帰国報告をしていただきました。

団員の皆さんからは、「鹿児島の魅力を再認識することができた」、「多文化共生の社会を直に体験し、自分の価値観や国際的視野が広がった」などの話がありました。

塩田知事からは、シンガポールでの研修活動の様子や現地の方との交流などについて伺いました。

この研修での経験を糧に、それぞれの地域や学校、そしてこれからの鹿児島の良いリーダーとして活躍されることを期待しています。



▲皆様との記念撮影の様子



▲皆様による報告会の様子

●令和7年度「薩摩スチューデント派遣事業」の参加者に帰国報告をしていただきました（8月21日）●

7月22日から8月4日まで、薩摩スチューデント派遣事業でイギリスを訪問した、高校生2名と引率教員1名による塩田知事へ帰国報告をしていただきました。

参加した生徒たちからは、「講義やグループワークを通じて、日本との違いを学ぶことができた」、「さまざまな方から話を聞くことができ、自分の将来の夢につながる、貴重な体験となった」などイギリス滞在中に感じたことや、プログラムで行われた講義の内容についての話がありました。

参加した高校生のお二人が、今回の派遣での経験を生かし、将来、さまざまな分野において、ご活躍されることを期待しています。



▲皆様からいただいたお土産を持って記念撮影



▲今回の留学について懇談している様子

かごしまの旬の情報

●一番茶の生産量で鹿児島県が初の日本一になりました●

2025年の春収穫された一番茶の生産量で、鹿児島が1991年以来初めて日本一になりました。

農林水産省によりますと、本県が一番茶の生産量は8,440トンであり、2位である静岡県を320トン上回り日本一に輝きました。

農林水産省によりますと、本県は4月以降の晴れの日が多く、適度に雨も降ったため、生育が順調であり、面積あたりの収穫量が多くなったとのことです。

塩田知事も「今年、一番茶で静岡県を上回ることができたので、二番茶三番茶含めまた荒茶生産量が1位になる可能性が高いのではないかと考えている。」とコメントしております。



▲本県南九州市の茶畑の様子(開聞岳と一緒に)

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

●鹿児島県内で数多くの夏祭りが開催されました●

鹿児島県の夏祭りの風物詩とも言われている「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」をはじめ、鹿屋市では、2,000人以上の踊り連が市街地を練り歩く「かのや夏祭り」、枕崎市で、航海の安全と大漁、五穀豊穰、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して始められた「さつま黒潮きばらん海枕崎港まつり」など、県内の多くの場所で夏祭りが開催されました。

それぞれの祭りごとに、その土地ならではの魅力があり、県内外から多くの来場者で賑わいました。



▲かごしま錦江湾サマーナイト(鹿児島市)

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟



▲さつま黒潮きばらん海枕崎港まつり(枕崎市)

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

